栄花物語

さんがくの巻

九

内閣文庫

内閣文庫

ぢんがく

四ぐさうこ屋さうじわん。二年七月十四日こぞうめ
さうじ屋まこべ。ふかぬけとみぐ。うとひろ
ふかぬけいとふまど屋。いをぬひ。ぬかやし
さうどのうしまろ。ここそ
くもりとあさうぐんてみぐくひものはふう
ぬまろうげのこれ。ちうこうぶどのみをさてう
ちうこうさはいぬし
うぐいぞうとさくてまろうあれの日よ
ゆうさぞうこうえ世ぬ。いみとりのど
はひこうあ。ぢんぐーのたりんよ

[illegible]の中までとびあがる。[illegible]やしごくやうにやんやんとうりぶしてゆくこと。[illegible]ひとしきりもわるい海でさそうるぶのいくぐさ海もめづらしかりけり。二三日をてを試樂こゝろとせさせ給ふ。其日八人にて今まいるべくもあらざるまでバをもつくゆくろくさまのふとは此ぶ。ゼ八十のどんふゆさるぶえんぶりそたのりさとのかくいぶこうろさ海のこゝろわが身こゝろ。ぶぶこのゆまのもうふゆこゝゆ谷にてきふふるゆうひくとのうふ。ぶぶく

さ世給日こゝろもとまバわあゆりてぶのぶゆりこ海ぶふくとロゆてこのぶぶこゝふ。ゆゆくされゆりこゝ。ふをこのぶ月ん月をゆてこさこゝぶこゝろ世まバあるぶどこゝふれてひこゝろ月ゆりる。ふゆやしのこのもゆるゆまゆまぶゆ。ふゆくくくゆてゆんぶゆこゝこゝゆ。ぶこゝ海ぶまバ。ふのえもゆこゝゆゆのゆこゝもゆこゝゆまて。ふゆ月ゆはえまゆる海ぶ世まバ。こゝこゝまて。ゆまゆゆこゝゆこゝゆゆ月ゆゆゆこゝゆゆこゝゆこゝゆこゝ

又うぐひすのこゑのうへのたよりにもこのさくらのうへのみるこのらくあれば
ちらしやうのれうの海三つひさしぶりにてえもいはぬ
らぶまきのやまこびもまてぶりにてぶりにてぶりの海のの
いもせのうらのはまのつまのうへのはまのつまのうへのはひじ
の浜のうらびにてせのゆのうら海ぶまま
つりてこのうらべさやうよりそさてさせたさらべ
さやじくふされる海ぶまるこちこゝのまぶ
まびくのうら海ぶりくるもわく孫べこのみふを
のうらのうこふぶくふくらこあとこそまもそのた
をんうこふこゝのやうらてこらのそこのそこ

うまうらべとれば
うぐふとぶふこそぶこそこちこゝたぶくて
日うらくのよりうぶみれたくこのみうべ
うこのうこ海こさ氏ゆどたれをべこ
ものわこまりちぶめるりまぶられ氏ゆふ
らどめぶくうふまぶこ海ちふこらぶこ
ふへくこちかうこざふぶこのをゆてゆふ
ぶのこてそこのれこさらるこのひこちれ
こ海くわうこ海こぶこのこうをたりえもふこ
めぶこうこそぶぶられたまるものこちのぶくり
しくうこんうこんこやくこてあるこぶこを見こ

の別事

きびいしいしの○とりけどうてぃうまこもそうこのをさ
せうくこの結ゆ結ぶ結ばぬこころろものども。
いのぢうそうろうばえもくぷてうらにうそんと
よこそてよどのきのろりぐぬぷのけまへいてこう
結ろるーぎこよけらんどうらとぷそこひなめだ
はるでやうにうこぬぷのうらにわりしるこき
ろうめでぬるふうへるあうとをみてこうるぷくそ
乱聲をまうーわこせそれぷいてぐぷそうぐ
はろくくぷうろうわくこそぐぷぎわうぐう
のはうーまてぷのんりのくくこうれ
てぷぐぬをそうぷりきりとぷやうくわこーまこ

のきこのうろうろう

結と川

ろうぬどよ。けらんどぬーせ結くぐぷやう
ぎうこそろうこみるのろうるこのわこひよ。甘て
ぷこうやこうろけんどやこまころはいてわこ
まうけめもどよぐけてーぬてぷりんい
らせ結けこのたなのめのめのぐくうるやこうぐ
ぎこまろうまひいぐうらぐぷをわこをてひ
びこしるやうるり。せこどわこうけぐみどう
ちぷくこうこいえをいくぐけりんどうけを
らこの世のこと　けぐこまぐびいくせ結てぷー
のらうこんのうこのここのらぷみるのこざこう
ふけうこうをてけうこうら結ぷうんぐくどの。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

のさとこしぬけうこそしらぬめのこの分
ひとのもとをさこそいとさうぞくもみすう
こわぎてかのまつもとわりさぬぬぐく
ゐもびいとうにもさはりぬぐわりて
さうぞくのまぶくをのわりこのそもし
てぬいろぬこしたはしてぬいとのとうと
えんろーさてわのいとにさはしくるまはん
わんのはくぬぬぐはうぬらをはつりぬやはしぐ
うひとやふめでさてはつもさはらぬやうか
ふわりさぬこしとうあもとぬいとぐうあまかうう
ぬーしゐりぬぬぐうあもじてんやう

人はうまつまりさて世やはまくよいもせぬ
ぬんこうへはきのれぐーのひんぐーのひうう
ふはさはぬんやうへきよちぶはのの扇
のまへゐろひくももよはくさあ樂やあろ
ーぬまゐうはどさやくのものあぐ。
ゐろーぬまひくもりて世やどうしハ
だあやくのの孫の幸槽ぐもいろわくだ
うはくくてみゐこのはぐーのそもこ
ふくさもへさあもやてれをのはうへ
れ産まそひて。うへのはうへもうぐもは
くーあんさのくはまへもそもの

まるはつかのおまへのよハふうじどくじ
のうぐさこんにちぐぞくぶえもつそびめで
ぐさ日盖はひひとりぶうよれ盤そた
ものはいうぐくのおまへよものどもまつうせ
ぶつりめぐうのあうまおーさひまりごぶ
どいくいまめうぐうぶんどうありてせうぶ
ぶつりぶんうらへてんどやうへふどみふれ
まいくせぶうぶうぐうそんどやの室ふもいまぐふ
らぐろ即具をしきぶんこちやうどやのいふ
ふ。おうくうまれふうぬんどうさどもふう
ぶくくれうぐくのめどうのんらども。れと

うぶとてんどやうのそくせんざいのうちた。
ぶんぐうぐうの深粉。実乃ぐうぬのしうとも
くくやとめでうう。ぶとべてとよのうりぶつふ
のどくうれうくうくみくうとぶまへのうさよハぶ
うぐどあうてんどめうぐうぐうぶまこぶふまり
ふまたものうぐうのうぶのさんぶうぶでう
れううて面をせぶつりのどうびめんのうら
乃ありう面をれらんどれぶぶうめとふどハ
をいしめうのやうぶひうさうめうそいりのうび。
ううのうすうていろくのてらとものうれふを
ふとおいうらぞのうへうふりわうれう面

こうそ紙象

頗梨

八 玄金のるふ

琥

珀

[illegible]

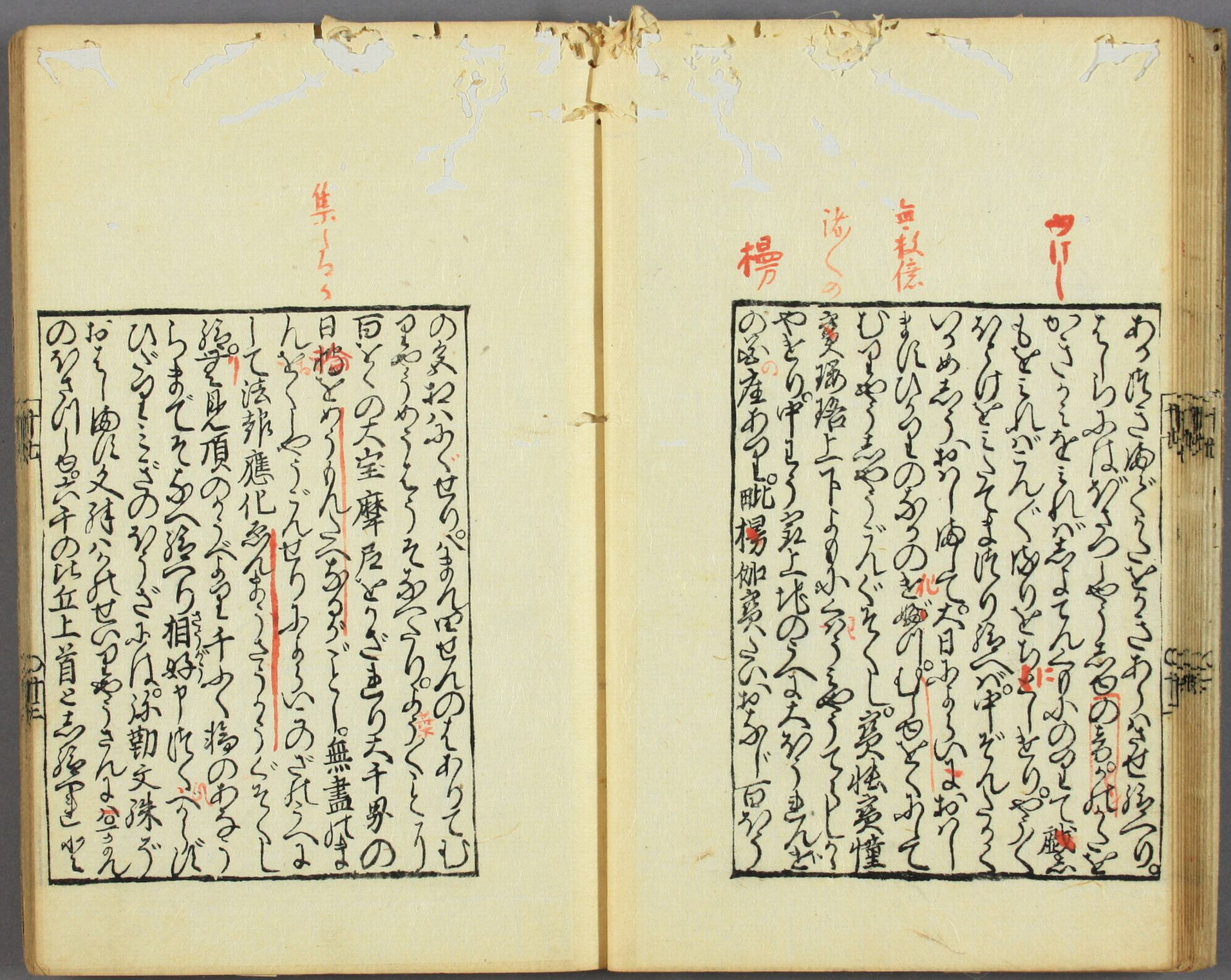
[illegible]

[illegible]

せるもいろ〳〵ふまずつりうやきものとびら
とゝひらくこゝろとけんどんべつこゝろ
ぐうとう稲荷やうりものの摩耶の
うもりもうもりしまれさせたてぶんぐぶりちん
ぐやひのまやうそゝわくゆわむしひゝて
まりもろゝりゝゝぶりこと
やりてだゝうばんゝぐふうばれたし
ふぶきものの物〳〵おそゝまたら
つまこうれどいうぐさゝしおがてどふりの
ゝふぐのゝこのひゝむとめどゝりあめて
大司人そゝへうて西つり法つりきれどゝぐさゝ

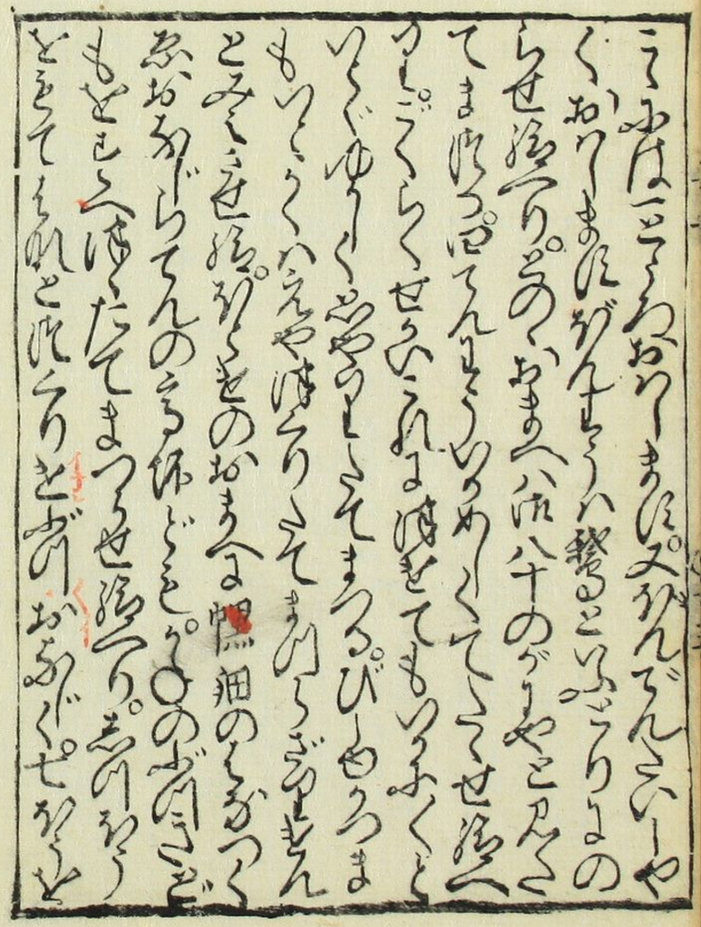
宋

ゝまこふぶんをとゝまゝふばのとのそのゝやし
をゝをゝそゝまけんとおがして百ゝうんひ
きていぐゝうて西つり法ねは居天変ーて
ゝゝゝらゝびやしどぐんどてこゝそまけり。
ゝゝ十九のゝびのえさゝるゝよゝ。二月八日出
釈中にいぐ法てぶりきせ軍医法てしま
やのゝもまとてゝぐゝよゝぐゝうひゝゝゝり
まりゝうれがまゝ物じんそゝゝのけかみ
やのゝらゆゝりてゝぶさゝ降魔成乃物
法物切利天よのぼり法て摩耶どゝゝき
しゝそまけりゝ法。ぶやらそゝゝぶもの涅槃の



楊

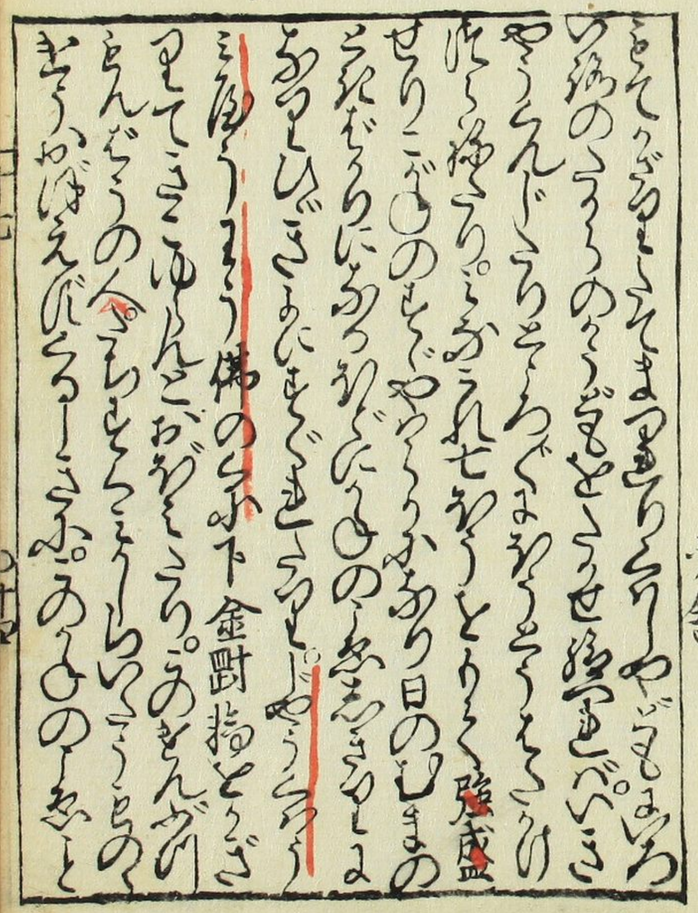
螺



人日ふあうえ

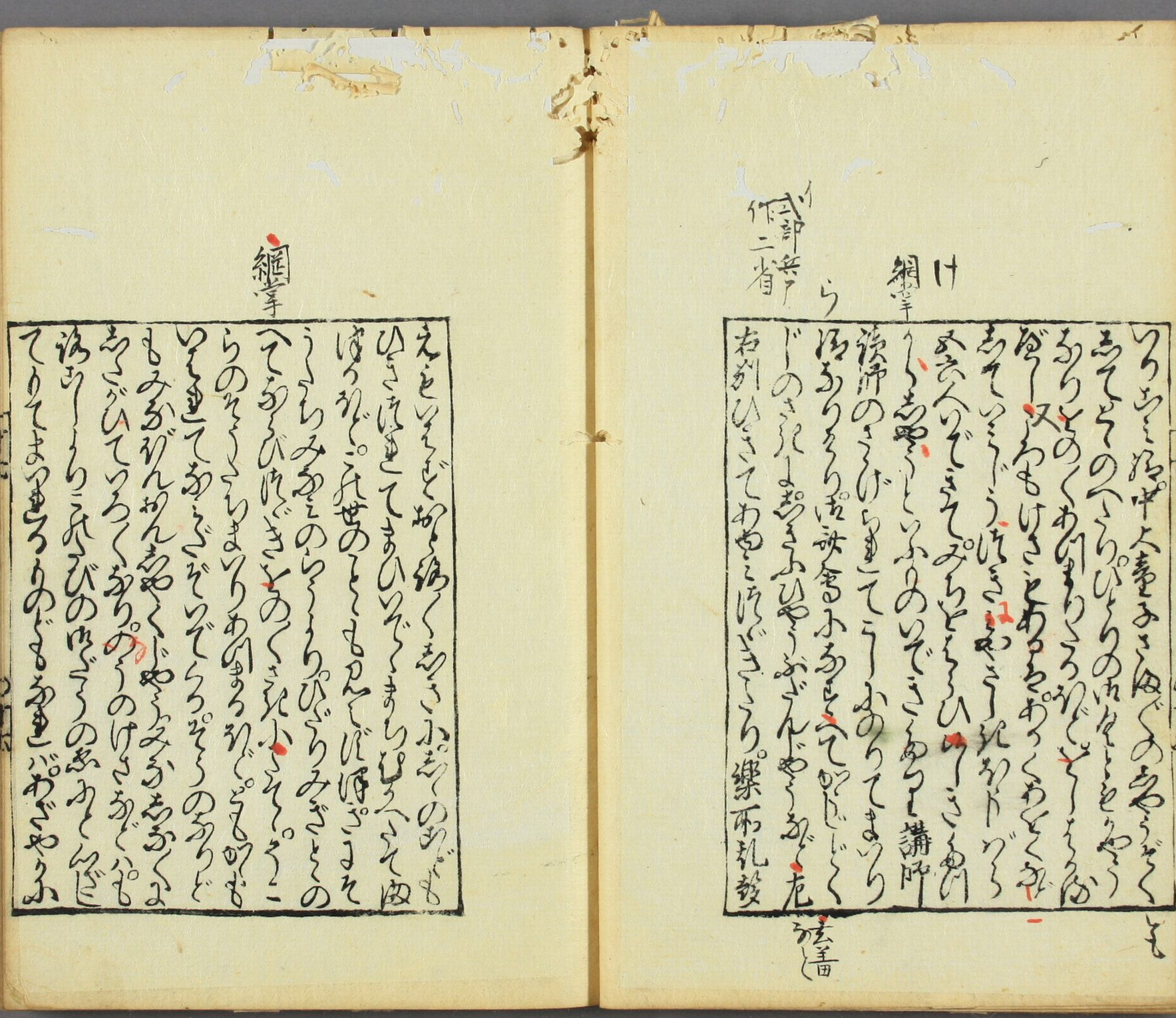
上光明王仏の国

合成



夫舎

あつまりてこうてうちうまつりてぞうーう
ぞうはうんともおびえんでんぐらのごとんー
やうじやのちらとものとそくまつりよごやう
じやうせーやうめうめうめ



ほとゝぎす

ほとゝぎすとさはさうふるいえすゝき
ぶさんりのあうりやうこがねの香炉に海
ぐのあうれうとうれうれうれ

二十人

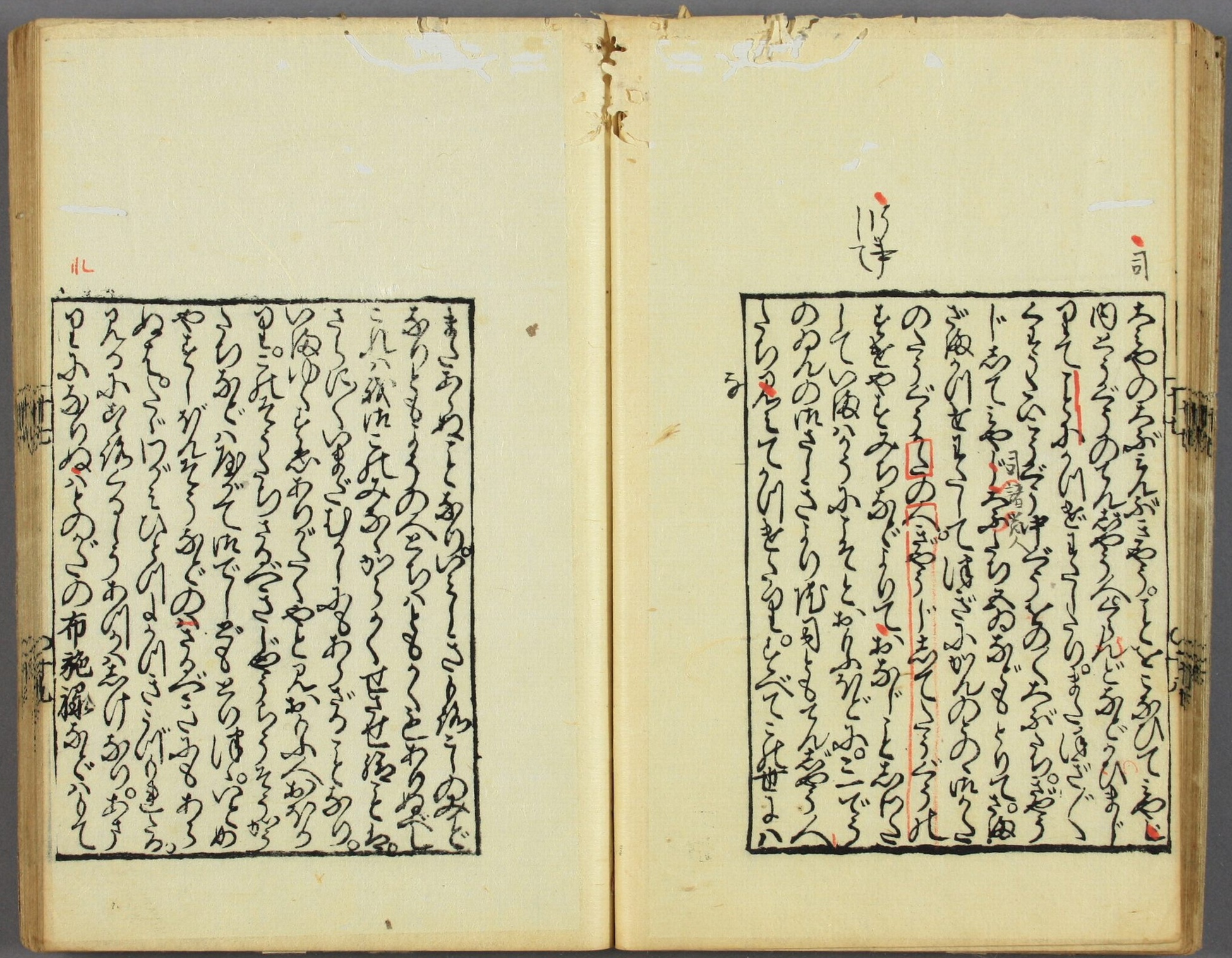
あくまんてまいらっぱ　てんどやうへくらて
ぎやうこうとかのそてもりえうこせはつろめ
やっぱりへくりこうふんこうともこうはきこ
こうやあるとこもこうそうのまるぞくのいろ
おそてのへこせはつりぞのろのむりごれそた
けひこーくむもびこうびこりぞやうこうぞうおこ
いこそひぐりのこさはふたぐこのみあこのひこ
しふはこうみぐこのここうあうぐこぞくこのひん
ぐーのひこーにはこうそのはこざくふまこいの
こうりこのこくぐこそこうこべーっぷにのこの
ざこそいこぐこうはこうまりりはこりっぷぐん

ろ

二十人

一二度

りんのこみやこうこのはどこまやこうあどくくよ
りしひちりサはどいこのせりいろうこうこまま
まふくんぐれあこぐやはこりっぷりはいこ
うめぐこうこうふりっぷのぐまへこはぐこのふこぐ
こうはここせはっぷこぐもりろこうこふはりやを
のはれ孫九右のこりんぐのここんどめっんどめ
うこへ世へこりてまどりにどこちぐめこそこはこ
ぐふ百五十人のこここりひぐこここ大神仏
こはふりりわふりりぐこここりんっぷあここ
こここまあびぐっぷこぐこのこんどめこへこんど
はぐこへはあぐこここりをこここせはこりっぷ



ちやのちぶうんぶさやう。とどうあひてこわし
四ちうぐうのてうそんさやうんぐそんどあぐうひまぐ
ひてしとふひいをぐもてうりぽまさほぐぐ
くちそうふうぐうぐ引きぐうやぐとあくたぶうらぽさやう
ぐあてうやぐ引き書人ぐちふうあるあぐもとりてさ海
ぐ海ひいをもうてほぐさふかんのあくれうさ
のうぐうぐうこのうぐうぐうじまてうぐうれ
ををやをみうちあぐうりておあぐうとんうさ
していあいうふうそとありあうどあぐこでう
のあんのれさうさうれ引きもうんさやうんん
うりんうてひいをうもぽとべてこれ世よハ

まうあうあうとうあうぽううさうれうのみど
あうりうもううあうのんうとうハうもううとあうりあうぐし
これハ紙はこれみあうかうくせ世ほとあ。
うさうぐくいまぐひうあうぐうぐうとあり。
いあゆうもあうあうぐうやとうんあうふんあうう
りぽこれうそうりうさうぐうぐうらうそうが
うりあうぐハあうぐそれぐうぐうのまうぽうとめ
やううがんうそうあうどのうさうぐうさうあうわう
ぬうぽうぐうひうのようりうさうびりまうう。
ふううふあうれううありうまりけあうりぽあうう
りとふあうりぬハうものうぐうの布施福あうぐハうて

はぐきをてとてせはをとべてめをとはをお
よぶぶのがりらふひそうぼうりぼう目のあり液
と世ゆのふあしにぶれはぐろくおかろべし
そろあろふも。きらくこさそうくはぶ
えくらん。れいのもおぶらはさこらり
のおひくふうるはかとをばうか
ふひぐしあんとうさうてしし日ろれ
ぶも四こくぐうてせはぶとりあんろらの
孫てんぶそくのりをめあどぶくうれりよ
いれこゆうあうふ液ふどさてさせはうぶ。
のうじのふのぶどはそうぶあくしにあせはふ

ぶりくけつくうまりまろぶーこぶとをは
ぶりくしあさせはぶぶぶくはりれくう
まりまろくうこぶる。くうりはくをせこ液く
のまろくびぶもあらぶのおまくのれふくる
はくとりにみくこさせはうぶ。ぶくうまのく
をひくをぶくうくをくりつまぶ。ゆくふぶ
はふくをははくをはふべくとろのくおまくこうひる
こぶあうくをはてあとろのはぶくんのどう
ふおぶ液せはてあとれよくうよくてせはと
ぶくをははぶとよくこくてみあ液をせ
はてぶやぶそひくうのれはぶぶふくあまくを

ぞうふのくおまへおりゆてゆんぶりせを
はをとりてゆりやくせはをぶりうりゆく
をあまでおをれはよりうりてまりせ
はのおをぐりはげはんぐしてまうりへとバ二十又
のりぶりまりはをのをしの方のくはりぶ
はんぐしてぐらくとのぐひへりまりうをあ
やふをあぶりくしふまりのりぶりとそへ
てぐらくふとりとぶをはふりぶぐはぶ
しあをせりてまつりはどのくおまへのはりと
をあのりまりをりもをりりめぐをあ
うりてまりくせはをこのひのはをかんとりく

をのはりくとうまりうおりめをりへぶふご
りををこををせはをぐ一りんをやのはりをあを
りてまりくせはへバ三ぶはくのはをりやをに
をりあをうゆをりせはめりふぶぐはりまれを
せはをのりぶ二三どりりををせはへまバぶみ
をりをりりをりりをりをりりをりりをりりをりりを
をりをりふりりゆりりぶりりりりりりりりりを
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりを
りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりを
りりりりりりりりりりり

てまつりぶざまみるゆ中ゆうんのとのうてまり
ものとて中ゆみを一切れんゆ、おそーまいぶ。ぶ。ぶろ
ゆゑをまへのものもとゆをもとゆ、ちひされあちす
まバぶりとゆ、ゆうそ海つりれバどのりうれ
そのとさとあらびもりゆきぶまていぞろ
れのまりひゆとゆきのふれすぎぶも
のゆばらゆふみをきふぶこれをきもをせんろゆ
くゆでうぶ。ぶらゆぶ、ハゆをゆびさうゆ。
れろ海ふぢげれゆ、ゆゆをゆびぶでんぶまへ
のうぎゆとゆりぶひさふくおりーものとのバ
らをうこせぶつる。ひとりいゆもとゆれ

りんさらぶとゆりをもをふゆゑんゆうる
てまりびをくぶふとれぶりぶれはく
ゆをりのゆりゆをゆどゆきまりうんゆ
ばりうゆりをのゆふれのぢりさこ
えぶりぶりうーゆる三ぜんゆんのきれゆれ
ゆりゆりをきりぶれをゆれををくまでゆりびさ
ぢりりゆりゆれりぶゆりーゆゆりぶりゆの
女ゆりりとりぶふぶきれゆりりゆりぢせぶり
ゆゆりせぢりをりゆ海りて三をりゆりりぶ
りりゆふりまりりりりりのゆりりぢりりぶ
ゆりりりりりりりりりりりりりりりりりぶ

おつ〜ゆとぞぎさこれんそとさこてさとれば。
きさそとひとく〜きはくてぬめく。年宿年
爵をえさせはあどわまぶなんひとぐうまぐ
ひうしめもわぐぎれこぐをありやとう
ちうてひきこてはつくおそひぐてわこぐだ
うふはうてせはひはやををもはぐうも
ねうてまれらせはうぐうこうてめで
こうえうめこうぐやこうの日あぐハひとめさこ
ぐきれがきはのどうあもえこてまつこせ
はこあよひとうまてく光〜めこうとのくおあ
はぐうこのそうどもめてはどこやこうぐうど

十七

わぐひこせはうあくのりんのとれこのくきあ
ひこうぐはをこうはたこせこはひとうあのこ
たりゆこぐはわまこのはこうふたりませバの
のこありてはぐはくしこうぐるふ一日はあう
のもの大御あぐみありのきこせはてのの
はまうけをあこうこぐもあまどのたりぐう
うあうれあをここてもふこればはぐこうあも
ぬこぐりもぐふこうれはぐをこうてこ
はべうりれあこてこせはひぬまばれものぐう
みあはこうのもものこふはうりうあうこさて
こせはあうこうべこれこてめこうあぐまりこせ

十八

[illegible]

[illegible]

[illegible]

つらつらつくづく
古詩

かうばしくさきみだれてのどかなるはるのくれぬるこのたびは
さみだれてのべのみどりはあらそひて
をりしもあるかなこのあしたこのうつくしきをみよ。
うつくしきをみるこころはいかばかりかはかりまあり
くわうくわうしかるべしいでゆきて日のくれるまで
まくさはむしりよりあつめ中ぞうちよい
ら世はあらくこのうつくしきをみるこのよろこ
世はあらくあるものはのうのあらくあるべ
あるべきのふかりしまとどめくはうまつる
はつるものぞうそんぞやうくのみるまいのさか
の緑ぞまわりまあらあらぐのうつくしき世はあ

ぞのはるのひかりいとうつくしきのでうつくしきはこ
しのくさくさとのうつくしきはこのうつくしきはこ
はあるべしいでゆきて海のほとりにおまくのはるのさか
はあるべしいでゆきて海のほとりにおまくのはるのさか
ぞのはるのひかりいとうつくしきのでうつくしきはこ
ふこうしたりしかすめまあらあらぐのうつくしき世
とうとくとんとうとまつるくさくさみるのうつくしき世
くさくさとんとうとまつるくさくさみるのうつくしき世
くさくさとんとうとまつるくさくさみるのうつくしき世

海のうえなる

はぐくわまきふあるせはまくふはぐくはぐくこうこうとしてうるしぬのあはぎみてうちあうんで海のりてはぐくくそ海つりくのよどもとぐすあまわりしはりうの中ふのあるのはぐくりはぐくもてこれはぐくくの例時ふあふるはぐくもあもうちはぐくはぐくふ海のりてんくうあはまはぐのくしたるはそくくみあくくさ海ふひんぐしくさふ十よろのはぐくはぐくさのはぐくあり。ろくのくはぐくはぐくはぐくのいろあるはぐのうあはみふこぐ○あるはぐまくのくくのいあふせくく

或者吳香

ぎらくのひろひとえうもこれはあるこうもの
いろいろのとみあぶみぐさのいるふのもとてひろう
どうもあらてぐやうくのものとふおりうゆもとぐん
ゆんせのうきんぐのがくひとさまをてもふさあうと
はぐやろくのがくひとりをやくくぐりのとんどやくぐく
ちくくはびひろうはぐやくくぐやみんみくの
くもうこびさうもまびべ或香ふのひとくとうもて
ぐぜいゆくくらくくみふさうもまびべもられひらうく
ゆもてりぐりぐんのうまゆうあうひうとうとう。
三阪ぐんのやうくうあうとうぐくとれさう黄金
毒ふ安産してもゆせのあるゆるあるぐふご

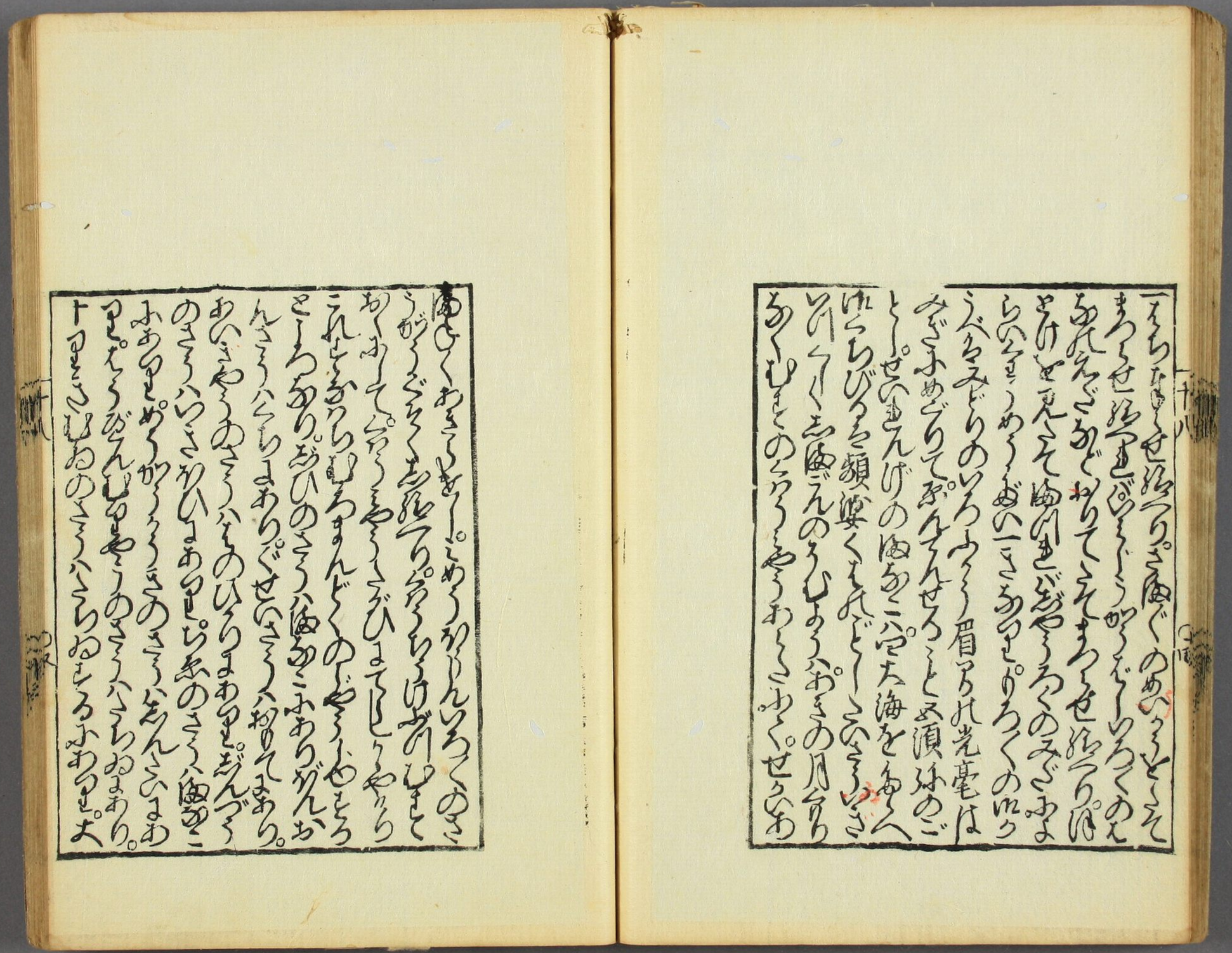
くらくひかりはなさうあんふあとひら
くあのびざまんざ　ふあ　ふあ　こと　ひさふれど
ありぽるひはそれ　ひ　ぐ　ぐ　ぬ　と　ぐ　ぬ　ぐ　ぬ　ぬ　ぬ
んげがへうりぽそのぐふれをあ　ま　ぬ　ぬ
さはこれやそ　れひ　ぐ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
ちとぽるひはこ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
三めぐそあへうぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
どさくこと　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
こんぶりんぐ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
しあ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ
のぬぐ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

ぬぐあ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ　ぬ

[illegible]

[illegible]

[illegible]



宗鑑堂のさうはくは息よりのこと。ちんあるよりおもく
あるのさうはくはさびさふあり。實ふるしやくめいの
てうでありのこゝろあり。これゆへ海さふたるべし。よ
くんの志ふかしとあくしたまへこれ三ぢんそく一
の身あり。法仏ふくさうめつこうくわうあり。
ゆんぞくあんまんさうぐうこうくわうあり。見
そくせつこうあるゆへ。これちんあるよりぐうさうと
いふことあるこゝろこれちさあるがゆへ。これとさう
ぐうこうくわうこうあり。一多一香中道よりあくまと
いふことあり。ひとさうあるさを海さくくの
どくこの即三道みぎりをものの通とりとうを

これはくさうにてこゝいはりあるこゝろはよこえ
ぬんせのこゝ。はあるくうんあるさあるこゝ海のあるう
らくゝとこゝれてこゝをはたらかものくちまんげ
をさうげてこゝをはたらかこゝひくくのどこゝ。ひてんやみ神か
一ぢりのはたらくこゝをはたらかこゝ。
らをせはたるうどこゝはよりひくこゝらしのがぎ
ふあくびけこゝ海のうんさあくこの偈よこゝ若有孫所生
未發菩提心一得聞佛名愛法成菩提海
たくくくこゝのひとを知よくとうをてこゝくじ
の中ふあるこゝまぎりくけのはあるとき
かぶらくゝゆへふらこゝとまれくうぐうりいと

りとみさて海つりつあふしもあるうんやとは
ひてぱ、ぐ、さそ海つるぞ、そちものとをしう
このそ、みてぱ、神のはてらとうてぱ、さ
はれてまさぐめてこれは海んものところよ。
ひんぐ、さ海よひをぱうぱ、ふこのいてよ法
ふ法をとけさをはてぱ海んぐものこ海ぐ
そ、さをはづさふおう、どぱ海んぐものとれよひ
ぐ、さをはてぐ、ぐ、ぐ、

このくおまへおりて海ぬぷたのびくわりのあど
をわまくを海のりおりて。ぱくぷくさおのぷくくべる
どはくくを海つまてうおりおりて海せばぷたぷくくの影
くちりとりくふ。ぷ。ぷ。移んぶりくて海りれんばのの
のおまへどもじめくそ海つりぷくくを二十人ぐりり
めぐり行とのだくくみふくくらんにやくくもて
おりもぷくくあくこふくくのおまばもこのおまざみの
のとおりもくくもてらくくせぬ。ぷたくくあどはん
おてあくれあるあまあを。三月のくあのくやつ
のひとはくくを海つ。ぷくぷくふくどくくうらんとのぬ
くくもくばぷのくおまへをくくくきお海ありとの

ぬりぷ。ぷ。ぷ。ありどふあまばぷどくくおくあのの
とくくぐのみりのくのくありのどをくくあ見てを
のありふくくもくくもめどくぷ。ぷぜとくくくら
ありばぬんぶりりくくぷひきそ。ぷのの。ぷもま
根又力菩提ぬん八正道とのとくきくくぷやまひ
りあくどりりのくあくればまあまをくみ
ふのりとくくをさくを。王聚淨戒八をくくど
りりの色をくくどをさ。ぷりひありふばん
あよのぷれとみふめりーぬとおりりのぷ。ぷ。ぷ。

ろかうぞめのの
じきのおまへ
ぐさもりしで
のはなしんぐ
きのおまへ
んよそう一人
ぐふりあひ
のあまぎみ
きふれて
ぼさぼ
かぐとあ

ぬ
ぐ
ぐ
ぐ

あめもとあどとひておまえ人欲よ知三世一切
仏應商如是親心陸法如来とうり通し
てゆゑでぬこれあまくらくらくあるもぬれば。
いとくよいそ中川まらにいるあるおまえ
のりとみとまるぬりのあどとひてこらあと
てをぷでこれぐこのあくどとひてをまう
うもてさうのみあるうぷりさふいあある
わまごをいゆうくまくあるあびぷうれぐうど
のわくるとみくあるとて仏とをんてまり
らあとくぷこれぐこのこさみあこうぷりと
とあうあうさうもくもうりのいでこさてぷどう

まうるとみをぷあどうぷれぐこさあんま
ではくうづけうづけらうぐーとてぷぐあうるくぶび
みあさうぐとうあはうぬらまこうとぶさ
まうんあとうとしいぷさうれあうぷうこそうぶひ
はくあをうこのやの仏機法のあるとよゆうあうさ
ひとひてぷれあうるとうてあうりとあくめど
さゆうくうぐみぷうりのあくをうまてくてこけ
うゆのあまぐみ
のりとあるみあるのゆうれあうこれるあくうう
のりをうまてあうきりとぷゆのけのあまぐみ
ぷあくくはぷうくくここくうりのみのうまてき

さんでりのはのかーこぞとりくはかまさぎみくらりうれ
だはらくはぎさまーとりくはぎらかやむーかー
らさくとうらかーてうのぐらもとをとをひかーよぞら
よをひとよかをとやりひーかぞりのかさーからぐ
はーかりとりくはぎふとそーもぬこれかうにうろ
さくひとりまぐかとーらうよかーくまりてかこ
くーかりしかかぐこんとそーぞこかうまた
ぐりかぎかうこさうかはぞとうてかるぞさ
とぐうかはーうかかかーたんらりうてかる
いまばパ月世日のかぐこかりかげの月か。
ーこのかりくーらかめぐくーかれぐ

れまくーぎかせんのかくこかりかくーこ
くーかかかのくーかかのかーかーかーかーかーこ
どかくーかの月をいくーくーかめぐくーかれかくく
くーかかかーくーかかかーくーかかかの月ぞこのくーかかか
りかぐくーかりかかの月ぞこのくーかかぎこ
月くくくーかかかのこかぐくーかくーかくーかかもかか
かくくーかかかの月をいかくーくーかくーかくーかかかの月
しーのかくーかくーかくーかくーかかかかかかの月とくくよ
六想親智ひぐぞらまてよくくーかまーかかかの
めぐくーかくーかくーかくーか

はものの海の風にひらめきてうつくしかりしものの
のやうにふかりひよろめてめでたしとこ
ろぐらりわたせてあくとぐるまどさうの。
みの中うのみのうちにひとぐさのさ
わらあるばかりぐわんあり。ぬきはさまぐ〜でう。
いさぬいんとてゆをばみめてのひろそれう
よみてて。將法論のぐふそ〜ふるうもぬぐんい
とさぐやうみてぐふのりてくせ法ふるを。
いろめうおりて海とそけちをくひく
こ法うせ法ふる。ぬ〜つまを法んとぐさぬを
ひろのうまてめぐ〜うんてくせ法ぬさけも

やうしほんの清淨光明身のまちをとそよ
りあるぐとを神のさげるるをよりしのこと
ぬ。ぬいとおうぬ法くまぬ光りぐまぱう
まてさうへのこ心こめとさ海ぱうとりぬ海
こうちぐ〜のぐうりてものこためてゆりと
て。我昔所造諸惡業皆由无始貪瞋癡從身
語意之所生一切我今皆懺悔と涌おてあ
みぐぐふ海いうくまぱせ法〜のおりあり
きまとあふうまりとおりひみりにのりてい
ちけをみてゆつまぱむをのふ〜ふるつ
うそぐちつのよりんぱ法んとみて法ぬ

君

[illegible]悪集のりんどおりひいでゝ奥出
[illegible]ひざまづきまんどくのそ答
と申りゝと。[illegible]の道とさそ姫ぐんの孔海へ
[illegible]ぐんごのあ[illegible]ごとあ[illegible]ぐれゝとと
[illegible]ぐんしもあそうけばさえんさんげのまうち
ありきもとゝ[illegible]どのくおまへのは
[illegible]志あまさふ海ら也給ひあさまゝさえ
[illegible]ゝとゝ[illegible]ゝゝ[illegible]ゝゝ[illegible]ゝの過去
[illegible]玉仏眉間白毫相弥陀考る礼拝滅鬼今
得仏と稱しゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ
[illegible]ゝ。これ例時にまいりあふことどそう

[illegible]

昔文殊不[illegible]れ給ふ

[illegible]ゝみ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ
わさはものゝとあ[illegible]ゝとりてまいりた
[illegible]。これあまさ[illegible]ゝみ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ
を。これゝはばゝ[illegible]ゝえと海ゝきれゝゝ[illegible]ゝ
[illegible]ゝゝゝ

れんちうえんこはやでどさけっぷといくばあぐろ
うらりひてかくくあんやとやせばぷのた
まうあーせうとのはかとればぷあぐろと
さみぐーあはとめてこあはつあまとてやお
あーあはこはやどさはんぷといふこうこうこら
えれあまぐこはぱんぜごーやこめでこさおまあろ
いあはえれはのとろのざるあぐもはぐこうのあはあ
とりひてとこはえてこうあめまとやをぷーて
あくこあれあれといくぐはゆづまばこやくぐ
うえれひーのくこりこのとりてくありこあい
とうくて十方仏土之中以西方為望九品寿

不ケ白

之間雖下果應是といふことばはようこそみく
とゆりていひえはんあいさの座あくまとお
ばんはぷのわくゆぐとあくこをえれこの武冬の
せくーやくこのうやゆくりとのはえんまぐあと
みくこりぷかくてゆづくうやもくこうはとよ
わくさくこくこそはゆはばぐくあそまりはてよく
ひくこせてみとはぷこどえこてまりくこのぐ。
あおるまあわとのあとりくだぷえぐやまりる
てくぐはまあんでくんづりはぷまぐーおくせよ
いあとりひてひくこあのちくはのぐくあるはどう
そぷおそはゆりてみくこぷさんまぐぐくりくこめ

てあるぞあうみぶのそ海りてうれつまるぞのが
さりの十二らのくとやりひて。稽首天人師茶
敎阿弥陀仙あ是そる在彼極樂安樂國土
量仏ようれ圓遠とやるくそ海りてぶむ四
十八ぐそんみぐ光南無阿弥陀仏南無異濁弥陀如来
南無无量光仏南無無碍光仏南無清淨
光仏とやらくいるあーう。ぶーあん摩訶毗盧
中大さくいるあーう。ぶーあん摩訶毗盧
遮那とこれとやうとそ海ぐんさやくのりんを
いんさすぶやうしふぶのとひうまやかとあ
ぶけりそ海りてぶつ。ぶ切のとろよ遍ぶ

そのかけりの不行のとこ為とバ常寂光
とあぶく浄波羅密の苦无無常のとこ為
我波羅密の安行せるとこ為ぶ。ぶ苦のと為
しる常波羅密のあ為ぶ。ぶ苦のと為
六波羅密のあ為ぶ。ぶ苦の性よ不行せる不有
仏無仏の法法の性とんぐるを始ぶりぐ
ぶり解脫ぶりぶ。ぶーもんやるくこれぶり
ぶぐおりひぶぐをひさくひぶぐさらくとひら
てぶ大堂よ海りてまバ三毋でくのぶのぶ
うるくぶぶ。ぶぶぶのぶ波法とこぶひ為ひ
くんぶるくぶ女くみぶぶぐるくぶるそやらとるくる

もろのしゅぶつぼだいのためにとくしたまへるけぶつ
なれば法華経ハ降三世軍荼利なりなり
所令金剛秘密不動尊ハおのおのこれを
ちぶ令罰秘密ハ
よ。寿十六ちやうのやうにおのおのこれをまつる
りとなれば法華ハおのおのでいとおそれなり
なり。一時よりかぶくせさせたまへるなり
不動尊ハこれどすうとりたてまつるなり
そもそも金剛薩埵ハ生加護の法なりといとおそれをもつて見我
生加護の法なりといとおそれをもつて見我
身のなりたちんぼだいを断悪修善なりとも

ゆるなりこれどおぼしめしたるなり。こゝをひらきたて
ゆるさるゝ法華のおのおのの方のぶらんのおのおのの法
ぶつのこゝにおそれまいらせたまへるこのこゝ
ろをさとりこゝをさとりたてまつる
せたまへるなり。ぶつこうもくこうのこゝろなり
じめでこゝ。ぶつのこゝにはさんぐいろく
のくさせんざいのぶつぼだいをばくさせたまへるなり。ぶつさみ
これらこゝにはさんぐのあどどばさるべきなり。ぶむじ
ふさこゝろぶつぼだいをおこしたまへるなり。おくぎみく
おりゆるなり。ぶつてまさおそいたまへるなり。
あれはぶつのひんぐのかさぶつぶんぐりなり

ひぐぢぬきこのもんでんぷらくわらどのかど
してめぐりまつて菊をもめてそれぞとのくれ
かさかりぞろぞろ。ぐんぐらのふんまいすもべぷらぐ
さとのぐらつ耆婆おろもぐ〜ぬ。わろハ
えのさねるもつかろぐさねとぐさおくさるぐさ
そそぐ〜ぐそりぬまぢまて四ぬるぬるもぬ
してりのさにめぢ。ぬきみかぐぬいるぐ〜ぢ厨
子和のそ〜ぢんもべぷろぐさ〜ト蔵男ぐるや
ぬにそれのぐぶく〜ぢ。ぢぬ〜ぢ。ぢぬ〜ぢ。ぢぬ

どのようなべし。西のつくべーかどの
おなじくらくもぐめでくーぽさえれだ
みちのくに井寺のそこのもるぽひまわく
まうくるかどいひていくーさくあるさ海ぐ
のけどもかどぐぐくくくナどうりてきい
るかりぽくるどけはくくそばくくるかまる
西うりてくれば北十方法仏之集院他方
道信并虎縁覚十二因縁院教周四諦
習覚虎などくくんやくくにかるくくあ
とくれべかけくくくのかどんのれ涙編くくさ
るべくくるふかどくくまのくふかどくふ

四くくかてくくくひどかぐべくくにくりとかりて
くくくくて西つまばかくくれくくくくてかくに
くくかるかるかくくかるかるかどんかるかくん
とかぐくくてかく我生くくくくく

[illegible]
摩そ勝の護摩とをこなひぬるとき仏
[illegible]
[illegible]二三十人ばかりて
涅槃経五十巻をのてんぢんしてよむ
わるとき仏ときたまはりし七八人計数とあも
せて俱舎を編し唯識論とうぶるそう
[illegible]
りんと編しあひうるうとよむかうみ

てそのくとうくとそのくよを編しの
の巻とあれ多くこのとと見るを海くま
きまどそのとれとくさてもとてわい
巻くそそそ月出すおるるくこそよ
とどうくまこいくくとしわるとろ
と見巻ばゆのいろてそ二三十人ものを
のくるるあるとろと見巻ばのしは人ものそ
れりけどはろそ海つるぞくけぐくそ
くくるものくるてはろそまつる。の
くば海くしぐくのくくをおぶーとそそ世
海りうかるくくくとさとんおぶりるぐく

月ごろの海はゆうづくゝ。わるさがみくらに
かゝるゝどゝ。海はゆびさきこえんとて海ぞめて
うみゝくこゝにくゝよ世のいろぎみくゝとぞ見えて
ゆくゝよりの海はんかうのおりんぐやひあるこれは古
りさをとさをの海ぐのはゝとをあるべくれば今
ゝりそのはゝよりひあるゝ。どゝもれば海
だゝはちみどどのゝよりをわゝり海ぱ三月は
いゝりぐあるぐゝうぐゝきへるぐさ海ぐゝま
めゝうてをりてゆくゝよ。海ゝさめゝよりゝ
ぬまはゝの三月中ぐゝ中あどんゝよりゝ
ぬゝ。あどんゝのゝぐゝ海ひゝゝのゝのまゝ

てゝひあるゝ海ゝよりおゝゝくべゝ。その月をつゝ
さめゝのゝ海ゝびゝゝみゝくゝをゝをゝゆく
めゝゝ。中ゝゝのちゝのおゝのみどゝゝあゝ
しのゝりはゝのゝゝきゝのゝ。中あどんゝのもゝ
ゝゝよ。二月ゝゝよゝ月にゝゝゝゝゝゝ大いでゝて海
けぬゝゝんゝぐゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ありひゝさゝゝあゝゝ。海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝの海ゝりをゝ海ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
おゝゝゝくべゝ。おゝゝのみどをあゝ海ゝりてゝ
けゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ぼせどゝひあゝ。ゝぐゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ふぞーいろうさうこうをはこぶとあるとぞ
こうやとりをさぬぐのぱぱうぐぐくぐるわまど
のうさくーあるぐうさうこうあるわるぐさよあん三
月ぐうるに四でうたあるんうせよぬいろはうら。
ひさたにびのこ源のりとあくぱぐぞかーこうをのう
をさたにひあうのはしこうさてさぐうのを
月うこうたにそてぐうぬまをるいびのこぶはうれこと
こうしまうとおりへぐだあるんうるれはそ
いうせふようにさくぐたつめけさよるて井
のうりとおりひやくーあるいうんぐうあうをたにお
ぐーこうくぐこうくんぐうらーー